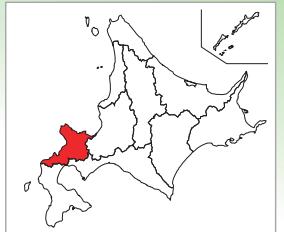


小樽建設管理部

小樽建設管理部の概要

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.



《概要》

小樽建設管理部管内では、道内唯一の原子力発電所である泊原発がありますが、この災害時における円滑な避難のため、道道泊共和線を整備中であり、令和4年度においては茅沼1号橋上部工及び、茅沼1号トンネルなどの工事を推進します。

また、世界的に有名な観光地である、俱知安・ニセコ地区へのアクセス向上と共に、果物をはじめとした、地場産業の発展に寄与する物流ネットワークの強化のため、道道小樽環状線などの整備を推進します。

このほか、自然災害に強い交通ネットワークを確立するため、道道小樽定山渓線の地すべり対策や、岩内洞爺線ニセコ大橋の耐震補強、道道古平神恵内線などで橋梁補修を実施するなど、安全で円滑な道路通行を確保します。

街路事業では、余市ICへのアクセス向上及び、国道5号など、周辺道路の混雑緩和のため、余市町の都市計画道路3・4・5黒川線について、工事を推進します。

河川事業では、住民の生命や財産を洪水から守るため、堀株川、尻別川、余市川などで流下能力が不足している箇所の河道掘削などの整備を進めるとともに、昨年に引き続き、減災対策協議会の場を通じて現状の水害リスク情報や河川の整備状況等を共有するなど、市町村との連携強化を図りながら、減災対策に取り組みます。

砂防急傾斜事業では、土砂災害警戒区域に指定されている泊村の泊16などの急傾斜地崩壊対策工を実施するとともに、珊瑚内川や太田の沢川の砂防えん堤の整備を進めます。

また、近年全国的に大雨などによる崖崩れや土石流などの土砂災害が頻発していますが、急峻な地形により多くの危険箇所が存在している当建管では、土砂災害防止法に基づく基礎調査を令和元年までにすべて完了させており、今年度は未指定となっている土砂災害警戒区域等の早期指定を促進してまいります。

泊共和線 バイパス整備事業

その先の、道へ。北海道

一般道道泊共和線は、泊村大字茅沼村の国道229号側を起点とし、共和町国富の国道5号に至る延長約18kmの幹線道路です。北電泊発電所周辺地区の地震・津波災害などの自然災害と原子力災害の複合災害による道路の寸断や避難車両による混雑を考慮して、多数の住民の迅速かつ確実な避難、また救助・救援活動や救援物資輸送が早期に可能となるよう、行き止まり道路の解消及び避難道路複線化のため、新たな道路を整備し、地域住民の安全・安心の確保を図ります。

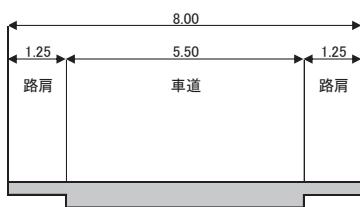
《事業概要》

事業延長	: L=16.1km
事業期間	: 平成25年度～令和5年度（予定）
全体事業費	: 約334億円
事業内容	: 道路工、トンネル、橋梁など

《位置図》



《標準断面図》



《写真:茅沼1号橋》



《写真:茅沼1号トンネル》



《写真:国富工区》



小樽定山渓線 地すべり対策事業

その先の、道へ。北海道

主要道道小樽定山渓線は小樽市朝里と札幌市定山渓を結ぶ物流・観光ルート、緊急輸送道路(二次)に指定されている重要な路線です。平常時・災害時問わず国道を補完するリダンダンシーとしての機能を担うことから、地すべり対策を実施し、災害による路線の寸断を防止することで、道路ネットワークの一層の強化を図ります。

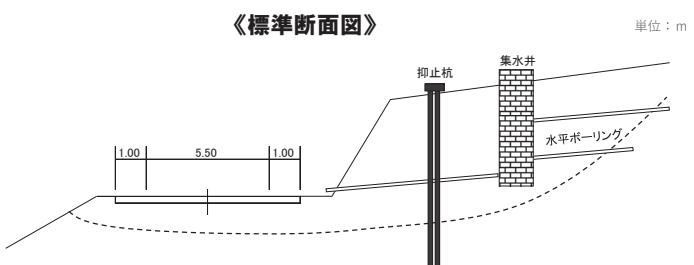
《事業概要》

事業延長	: L=0.97km
事業期間	: 平成16年度～令和6年度（予定）
全体事業費	: 約30億円
事業内容	: 集水井工、抑止杭工、横ボーリング工など

《位置図》



《標準断面図》



《写真:路面変化状況》



《写真:抑止杭施工状況》



余市川 広域河川改修事業

その先の、道へ。北海道



小樽建設管理部
河川事業

Hokkaido. Expanding Horizons.

余市川では、昭和31年8月の台風9号などの洪水による被災を受けて、同年から河川改修に着手してきたところですが、昭和50年の低気圧に伴う豪雨によって、再度大規模な洪水被害が発生しました。

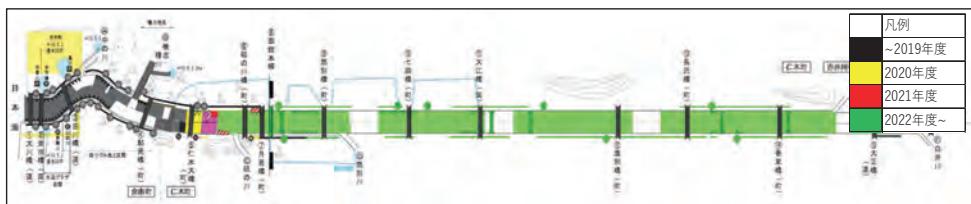
当該事業は、堤防の新設及び河道の掘削等、抜本的な河川改修を実施し、より効果の高い治水対策を実施する事業です。

《事業概要》

事業延長	: L=30.6km
事業期間	: 昭和31年度～令和20年度（予定）
全体事業費	: 約363億円
事業内容	: 築堤工、掘削工、護岸工、樋門工など



《位置図》



《写真:現況》



《写真:現況(仁木大橋付近)》



堀株川 広域河川改修事業

その先の、道へ。北海道



小樽建設管理部
河川事業

Hokkaido. Expanding Horizons.

堀株川では、昭和36年の豪雨、昭和37年の台風9号による家屋流出・浸水など、多大な被害が発生したことを契機に、昭和41年度から11.2kmの区間で改修を行ってきましたが、平成9年、10年に連続して出水したため、周辺地域に対する治水レベルを向上させる必要性が生じました。

当該事業は、改修区間を延伸して河道掘削や堤防設置を実施し、「泊原発周辺地域原子力防災計画」において避難路として位置付けられている国道及び、それに至る道路を氾濫から守る事業です。

《事業概要》

事業延長	: L=17.4km
事業期間	: 昭和41年度～令和10年度（予定）
全体事業費	: 約214億円
事業内容	: 築堤工、掘削工、護岸工、樋門工など

《横断図》



《位置図》



出典：国土地理院

《写真:現地状況》

